



# 事業評価調査 (アセスメント) 結果のご報告



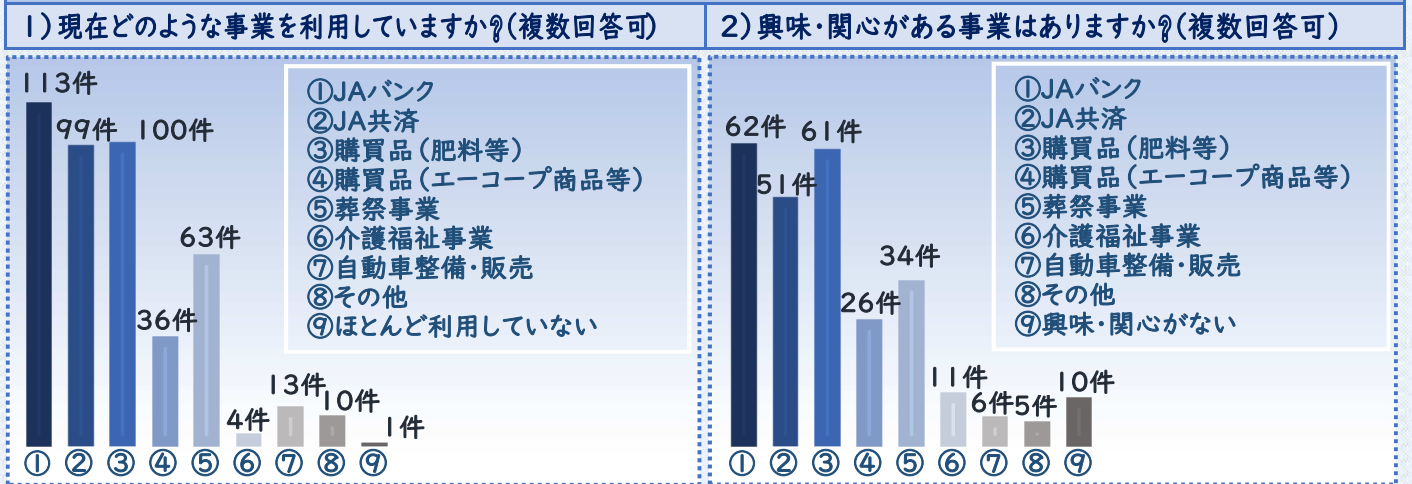
第8次中期経営計画に掲げる「JAへの理解促進とメンバーシップ」の取り組みとして、2024年10月に事業評価調査 (アセスメント) を実施させていただきました。

ご協力いただきましたこと御礼を申し上げますとともに、調査結果を皆さまにお知らせいたします。

【調査対象: 組合員・利用者300名うち回答数116名】

1. あなたのご年齢は以下のどちらに該当しますか?	2. お住まいは以下のどちらに該当しますか?
<ul style="list-style-type: none"> <li>🌸 30代以下 3人</li> <li>🌸 40代 2人</li> <li>🌸 50代 9人</li> <li>🌸 60代 29人</li> <li>🌸 70代 64人</li> <li>🌸 80代以上 9人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>🌸 柴田町・大河原町 17人</li> <li>🌸 村田町 14人</li> <li>🌸 川崎町 14人</li> <li>🌸 蔵王町 13人</li> <li>🌸 白石市・セヶ宿町 22人</li> <li>🌸 角田市 17人</li> <li>🌸 丸森町 19人</li> </ul>

## 3. JAみやぎ仙南の事業について、以下の質問にご回答ください。



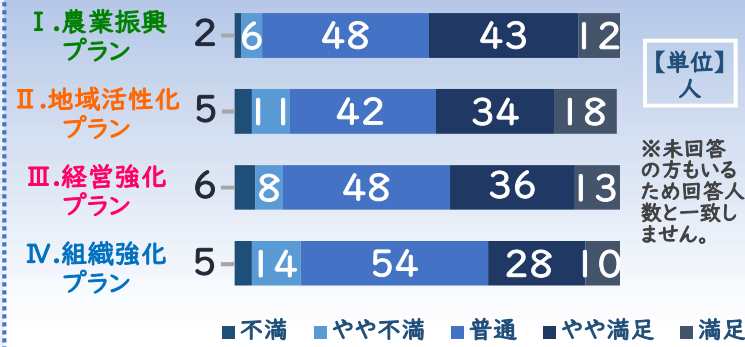
JAバンク・JA共済・生産資材等の購買品については回答者の85%以上が利用していると回答。既存利用の事業として回答いただいたものと同様の割合で興味・関心があると回答いただけました。一方で、当JAの事業に対して興味・関心がないという厳しい回答も一定数いただきました。

## 4. JAみやぎ仙南について、以下の質問にご回答ください。

1) JAみやぎ仙南に親しみを感じますか?	2) JAみやぎ仙南は「あなた」にとって必要な組織だと感じますか?	3) JAみやぎ仙南は「地域」にとって必要な組織だと感じますか?
<ul style="list-style-type: none"> <li>そう思う 47人</li> <li>どちらかと言えばそう思う 48人</li> <li>どちらとも言えない 15人</li> <li>どちらかと言えばそう思わない 4人</li> <li>そう思わない 2人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そう思う 68人</li> <li>どちらかと言えばそう思う 32人</li> <li>どちらとも言えない 12人</li> <li>どちらかと言えばそう思わない 1人</li> <li>そう思わない 1人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そう思う 72人</li> <li>どちらかと言えばそう思う 31人</li> <li>どちらとも言えない 10人</li> <li>どちらかと言えばそう思わない 1人</li> <li>そう思わない 2人</li> </ul>

当JAの存在・印象に関するこの設問では、全設問で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答が80%以上となっており、「あなた」にとっても「地域」にとっても必要な組織という回答は90%近くという結果になりました。

5. 別冊の「第8次中期経営計画 令和5年度の取り組み状況について」をご覧の上、取り組みに関する満足度と期待度を5段階でご回答ください。



【自由記入欄より一部抜粋】

(I. 農業振興プラン) 担い手の実質育成を進めて欲しい。小規模農家や兼業農家を大切にしたい。

(II. 地域活性化プラン) 地域貢献活動の取組に共感できた。地域貢献活動を通じて JAファンを多く作って欲しい。

(III. 経営強化プラン) 不祥事があり農協に対するマイナスイメージがあった。今後は事故なく健全な経営を期待する。

(IV. 組織強化プラン) 世代が変わる際、脱退に繋がっている点など、地区担当理事を中心に検討願う。



令和5年度の取り組みに対する「満足度」以上に令和6年度の取り組みに対する「期待度」が高く、特に農業振興関連事業活動に対する具体的な要望も数多くいただくことができました。

6. 別冊の「JAみやぎ仙南自己改革工程表(令和6年度版)」「自己改革工程表の進捗について(令和5年度)」をご覧の上、取り組みに関する満足度と期待度を5段階評価でご回答ください。



【自由記入欄より一部抜粋】

(I. 農業所得増大・農業生産の拡大) フレコンの無償化は良かった。農業所得増大のため、高収益作物の指導や経営の指導を継続して欲しい。

(II. 地域の活性化) それぞれの地域に合った活性化を是非実施して欲しいです。

(III. 経営基盤の確立・強化) 特殊法人であり目的に沿った資産等の活用には多いに期待する。



自己改革への取り組みについても「満足度」以上に「期待度」が高い結果となりました。特に経営基盤強化では、収益性を考慮した施設運営検討に複数のご意見をいただきました。

7. その他、ご意見等ございましたらご記入ください。

- 昔のように農協ガンバレ!若者に指導をして、農業で自立できるようにお願いしたい。
- 農協は金融会社ではない。もっと農家が求めていることを把握する必要があると思われる。
- これからもJA 事業を利用したいです。●当地区職員の対応には満足しております。
- 窓口での営農対応が良くなっていて感謝している。これからも頼りに接していきたい。

いただいたご意見等は、役職員と共有し、今後のJAみやぎ仙南の事業に反映するとともに、これからも事業活動を幅広くお伝えしていきます。本調査(アセスメント)にご協力いただいた組合員・利用者の皆さま、誠にありがとうございました。こちらに掲載しきれなかったご意見等は、JAみやぎ仙南ホームページにて公開しております。

JAみやぎ仙南ホームページはこちら >>>



## 5. 別冊「第8次中期経営計画 令和5年度の取り組み状況について」【自由記入欄（評価理由など）】

### I. 農業振興プラン

- 各地区の特色を活かしているのはいいと思います。村田地区のように色々な地区で子供たちにも学びながら農を知ってもらいたい。
- めぐみ野の取り組みで産消直結に貢献したこと。
- 地区営農ビジョンの策定を評価。計画の今後の実践と推進を期待する。
- 営農部門の人数を増やす。
- トータルコスト低減の手助けをしたか。農業所得が得られない。
- 更なる産消直結を。
- 専門的な知識を持った人材の育成があれば、計画への期待が出来ると思う。
- 担い手の実質育成を進めて欲しい。小規模農家や兼業農家を大切にしたい。
- 実績（結果）が記述されているが、対計画比（目標値）で評価されると更に良いと思います。継続した取り組みを望みます。成果を出している活動は、仕組化・ルール化はできないでしょうか。
- 全地域で実行されていない。徹底した研修を期待する。
- 高齢化になり農業維持管理が大変。
- 耕作放棄農地の活用に使ってほしい。地域特産品が育ちつつある。
- なかなか活動が見えない。農業所得の確保の施策に期待したい。
- ほんの一部の事例紹介のみで全体の状況が不明。もう少し深掘した展開及び事例が必要。
- ソラマメの作付増反、園芸作物作付増反を評価する。
- 行政との連携が重要で、作付増大に感銘した。
- 農業法人等の地域の団体の営農に期待している。
- 令和6年度も取組を継続して欲しい。
- もっと大規模な経営で安定した作物供給ができる様に期待する。
- 産消直結して貢献に共感。
- 農業者の所得及び生産拡大に貢献している。
- 食育に力を入れている地区とそうでない地区の差がある。
- 将来の農業ビジョンがSDGsや有機農業を捉えていないようである。
- 農業がどの様な形態で進展するのか先行が未知数のままである。
- 営農担当不足（現地にきていない）。
- 地域営農を確立するため関係指導機関（市町）と連携不足している。
- 農業経営管理支援事業に共感できた。農業法人化を進めて欲しいため。
- 地区営農ビジョンの策定が実践されていない地域があると思った。継続した取り組みにより結果が出ると期待している。

### II. 地域活性化プラン

- いつどこで何が行われているのかわからない。組合員に告知徹底を。
- 体験・講座等の実施による地域の活性化に繋がってくると思う。
- 組合員と地域のニーズに応える。
- 更なる多種多様なイベントの実施を望みます。
- 地域と関わった事業の展開を積極的にしてほしい。
- 1回2回では何も意味がないと感じました。
- 組合員と地域住民に対して確かな情報を確立。
- 女性部の活動にももう少し力を入れて欲しい。
- 組合員との対話不足している。
- 葬祭事業はまだまだ伸びしろが期待できる。対応も早く共感できた。
- 地域活性化活動の展開に親近感が湧き共感できる。
- 今後も地域の特性を活かしてほしい。
- 継続して地域の子供達や若い人との活動を期待する。
- 各市町に給油所の設置。
- 組合員との接する機会をもっと多く。
- 協同組合活動の啓蒙と現代的実践が不足している。
- 組合員の声を聴いているのか不明なところがある。大部分の組合員の声を聞いてニーズに応えて欲しい。
- 子供たち及びスポーツイベントも必要だが、地域活性化のポイントは地域にある加工施設、直売所の活性化にある。
- 活性化委員会の活動が各々に浸透してきているように思う。コストカットしないで欲しい。
- 訪問により、JAの活動の理解を得られた。いろいろな企画や施策を案内してほしい。
- 実施できた活動は評価できる。対計画比（目標値）で結果を評価されたい。継続した活動を望みます。

### III. 経営強化プラン

- インスタグラム、フェイスブックの活用で共感できた。SNSを活用しJAのことを組合員外にも知らせたい。
- 資料を見ると表面の状況でもう少し深く入った言葉が少ない。令和5年度の反省をして令和6年度に展開してほしい。
- 営農に対しサポートが少ない。
- 農業の後継形態がはたしてどの様に変化してゆくものか？
- かけ声だけでは、専門職員の配置を。
- 更なるJAの職員の研修会の発展と成功に期待する。
- 管理部門の効率化を図り、利用者に迷惑をかけない。
- SNSでJAをアピールするのは若い人にもいいと思った。
- 正組合員なのに生産組合がないため、「月刊誌」が届かないのでJA活動がわからない。
- ナショナルセンターである中央会の指導不足と全農、農中の協同組合思想の欠如。
- 経営に関する将来見通しの情報共有は良いことだと思う。

### Ⅲ. 経営強化プラン

- 強化プランどこまでかと不安もありますが、取り組みは賛同します。
- 今後の不祥事件が発生させない事が必要 ●まだ甘さが見られる。出向く体制からの発展に期待したい。
- 徹底的な無駄の削減と改善を進めて、小さなことから積み重ねて経営の改善ができることを期待する。
- 経営体制整備の早期実現を希望。総合事業での収支バランス、収益性のある新規作物の導入を期待する。
- 経営の強化と安定化を。コンプライアンス内部統制の強化を計って。
- 経営研修会、情報共有等は重要。JA 組織、行政、組合員、農業法人等の連携した活動を望みます。

### Ⅳ. 組織強化プラン

- 農協の利用に関して農家経営が必須のイメージが未だにあり、理解促進がまだまだ必要。
- デスクワークだけではだめ。専門職員必要。●地元職員の配置。●JA の価値を高める事が重要。
- JA 共済担当の勉強不足を感じました。●JA への理解促進の努力を認めます。人材育成に期待する。
- 協議内容や訪問活動での事業反映への評価認める。人材育成も以前から同じメンバーで改革改善がない。
- 役職員の自己教育の強化が必要。●組合員の充実なくして准組合員への拡大への注力はいかがなものか。
- 専門的な人材を育成し定着させてほしい。●組合員との意思疎通を深め事業活動を行って欲しい。
- 人材育成で資格を持った職員をもっと活かせる担当部署に異動した方がいいと思う。
- 組合員の年齢が高くなっているので文章はわかりやすく、難しくしない。
- 事業活動を担う人材育成。●組合員の声を運営に反映。●JA の魅力発信に期待したい。

## 6. 別冊「JAみやぎ仙南自己改革工程表(令和6年度版)」「自己改革工程表の進捗について(令和5年度)」【自由記入欄(評価理由や改善点など)】

### Ⅰ. 農業所得増大・農業生産の拡大

- 園芸品のブランド代価額上昇額が見えていない。人手不足か?指導力か? ●今後も続けられたい。
- 高齢化に対応していけるか。資材の高騰を受け、どのように指導していくか。●小規模農家に恩恵がない。
- 一部利用者の為のフレコンにお金をかけるのはいかがなものか。●頑張ってもらいたい、応援をこめて。
- 園芸作物の利益拡大では利益の出る作物の栽培方法指導。●本来の土づくりはどこにいったのか。
- 米フレコン出荷でコスト低減しても米が安いので他に流れてしまう。●生産販売の取り組みの強化指導。
- 担い手より、園芸作物で良かったという声が少ない。よりキメ細かな支援が必要。●コスト低減。
- 担い手は発展できるような体制を期待している。よりよい目標に期待したい。
- フレコン出荷拡大で低コストが図られたこと。●仙台牛ブランドの確立に期待している。
- TAC チームを活用すべき(TAC 担当者を生産部会の平時担当にすべき)。
- 園芸部門の職員を増やして指導・販促に力を入れてほしい。●目標未達成の原因、理由の分析を望む。

### Ⅱ. 地域の活性化

- 未知の人に広報努力を。●今はまだ途上。必要な時また随時応援団が利用できる地域づくりが必要。
- 努力されているのは素晴らしいと感じています。組合員の取組認識が薄い。
- 令和5年度年度目標人数 2,000人に対し実施 3,090人大幅プラス。
- 白石の場合、市との関係が薄い。●准組合員の増加と生活事業への参加が不十分。
- 正組合員への訪問件数の増加。●地道ですが、努力がみえるので。
- 大幅な目標達成を評価したい。継続した目標達成をするための企画を望む。
- 農業の大型化や法人化のみに力点がおかれているが地域を支えて守るのは小規模農家等農業人の数である。
- 女性大学、女性部、食農教育も大事ですが、農業者の自立及び担い手以外の農業者の支援。
- 地区まつりなど大切にしているように思う。各々の創意工夫が生きるように願う。

### Ⅲ. 経営基盤の確立・強化

- 無駄なものをいつまでも持っていてもお金がかかる。思い切って手放すことも検討して欲しい。
- 採算性を考えた施設が多いのでは。●なんでも圧縮すればいいとも思わない。●徹底検証を。
- 農中の資金運用失敗は経営を圧迫しないかの検証。●業務の効率化を求む。
- 対応が遅い。財政管理を厳格に行うこと。●食農教育活動の認知共感の拡大。
- 地区毎の施設を統合し有効的な活用。●骨太の経営になるよう期待したい。

## 7. その他、ご意見等

- ◎自分のJAという受け止めで利用させてもらっています。◎休日も営業している物販店舗を設置できないか。
- ◎組合員の活動はれいんぼーで目にするが、その他の理事・役員の動きが見えない。もっと紹介して欲しい。
- ◎共済LAの職員なぜ事務所を柴田にするのか。顔なじみになると共済だけでなく他の事業も知りたいと言う人いるが。
- ◎現場で働く若い職員が少ない。忙しそうで職員と話す時間がない。
- ◎農薬肥料を減らしてコストダウンをするのもいいが、燃料資材等も値上がりしている。
- ◎職員の教育がなっていない。営農部門の専門知識が少ない。全組織・部会の職員の知識向上が一番。これがなくて農協の発展なし。協同組合とは何か。小規模農家をどうするのか。農協の発足時を考えるべき。
- ◎職員の再雇用の方がほとんど営農職員でベテランの方なので安心してはいますが、若い方を育てることは大事だと思いますが、採用しても途中で退職されるのでしょうか。若手教育もよろしくお願い致します。
- ◎ビジョンは格好いい。言っていることは格好いい。何一つ達していない。組合員はもういない。本当に将来のことを見ているのか。◎JAみやぎ仙南独自の作物を作って欲しい。
- ◎角田のカントリー稼働率アップについて組織を挙げて取り組むべき。
- ◎カントリーエレベーターの利用料金単価をもう少し安くして欲しい。
- ◎10月から蔵王支店窓口職員の制服が変わった。営農だったらまだしも、今後の取組に関係あるのか。
- ◎SDGs活動に期待しております。支持もしております。ただ、手製の紙袋ですが、今までの封筒にしていたらどうか、紙の質を変えていただけませんか。◎農業資材を安くしてください。
- ◎専業農家の経営安定、強化の取組を国県町と連携して思い切った対策をして欲しい。